

調査意見書

受理番号 107-87		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	4	右下囲み 32-33	「FOCUS」中、「台湾におけるハイテク産業と華人ネットワーク」	相互に矛盾している。 (225ページ囲み「FOCUS」中、「台湾におけるハイテク産業の成長と華人ネットワーク」に照らして。)	3-(1)	
2	12	図2	「ニュータウン開発前後の乞田川の降雨流出量の変化」中、「河川流量(mm/h)」	生徒が誤解するおそれのあるグラフである。 (「河川流量(mm/h)」)	3-(3)	
3	24	16-17	沈水海岸は、海面の上昇と陸地の沈降によって海水が陸地に入りこんでつくられた地形であり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「海面の上昇と陸地の沈降」)	3-(3)	
4	29	写真4	上空から見た片品川と河岸段丘(群馬県沼田市…)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「沼田市」)	3-(3)	
5	38	図1	世界の海流と海面水温 (208ページ表2「人口密度でまとめた世界のおもな国・地域」、310ページ図3「都道府県別の人口の変化」も同様。)	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例の区分)	3-(3)	
6	42	図1	ケッペンによる気候区分図	生徒にとって理解し難い図である。 (「ウトキアグビグ(パロー)」下の「60°」)	3-(3)	
7	44	図1	熱帯の分布 (46ページ図1「乾燥帯の分布」も同様)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (キャプションと分布図に照らして。)	2-(14)	
8	49	写真5	茶の栽培	生徒にとって理解し難い表現である。 (「温帯冬季少雨気候区」)	3-(3)	
9	60	写真2	氷河が後退しているキリマンジャロ山(上:1993年、下:2000年)	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (季節)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-87		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
10	63	写真7	2000年3月31日の有珠山噴火(北海道洞爺湖町 とうやこまち)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「とうやこまち」)	3-(3)	
11	67	図4	「重ねるハザードマップ」で表示した千曲川の洪水浸水想定区域(左)と2019年10月の台風による実際の浸水域(右)	生徒にとって理解し難い図である。 (スケール)	3-(3)	
12	79	3 - 4	福島第一原子力発電所 写真4 同ページ 写真4「知床半島の海岸に漂着した海洋ごみ(2019年6月)」	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文と写真の関係)	3-(3)	
13	85	図3	日本とおもな国・地域の貿易構造	生徒にとって理解し難い図である。 (線の色と太さ)	3-(3)	
14	87	左上 図	「三角グラフ」中、「中国」の位置	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (表2「各国の産業別就業人口割合」に照らして。)	2-(14)	
15	88	図1	世界のおもな作物の栽培限界	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「0℃」, 「5℃」, 「10℃」, 「15℃」, 「20℃」の線)	3-(3)	
16	93	図3	アメリカの穀物メジャーC社の進出国 (107ページ図4「一人あたりのエネルギー消費量とおもな国のエネルギー消費の内訳」も同様。)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (塗色の単位)	3-(3)	
17	113	図5	おもな非鉄金属・レアメタルの生産国(世界図勢図会) (158ページ図4「おもな国・地域の輸出超過額・輸入超過額の推移(世界図勢図会)」, 同ページ図5「世界の輸出総額に占めるおもな国の割合の推移(世界図勢図会)」も同様。)	誤記である。 (「世界図勢図会」)	3-(2)	
18	121	写真3	石灰石鉱山の近くに立地するセメント工場(埼玉県横瀬町 よこせまち)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「よこせまち」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 107-87		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
19	124	図1	おもな国・地域の自動車工場と地域別生産台数	生徒が誤解するおそれのある図である。 (フィンランドの図形表現位置)	3-(3)		
20	134	表2	生産量の重量ごとに整理したおもな農作物	生徒にとって理解し難い表現である。 (飲料用の作物)	3-(3)		
21	138	6 - 7	モノの生産に直接かかわらない点で共通する 図7。	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文と図の関係)	3-(3)		
22	138	図1	「世界の産業構成」中、「中国」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (出典に照らして。)	3-(3)		
23	152	側注1	貿易依存度が世界で最も高いシンガポール	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (同ページ図3「各国の貿易依存度」に照らして。)	3-(3)		
24	158	グラフ 1	「おもな国の鉄道と航空による貨物輸送量と旅客輸送量」中、「貨物輸送量」	生徒にとって理解し難いグラフである。 (「25000」)	3-(3)		
25	159	表6	日本のおもな港における貿易額・貿易品目(2022年)(日本図勢図会)	誤記である。 (「日本図勢図会」)	3-(2)		
26	165	側注4	特定産業分野(介護、建設、宿泊、農業、外食など14分野)で就労が認められた技能。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (14分野)	3-(3)		
27	187	22 - 23	文化はさまざまな要因で変容する 写真3。 同ページ写真3「灌漑稲作景観」	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文と写真の関係)	3-(3)		
28	213	図5	「東京都千代田区への通勤圏」中、線	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例に照らして)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-87		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
29	214	図2	おもな国家群による地域区分 (同ページ図4「言語による地域区分」も同様。)	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例と塗色の関係)	3-(3)	
30	215	1	ヨーロッパに関する図6～9の地域区分図をもとに、ヨーロッパを三つの地域に区分しよう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ図7～10に照らして。)	3-(3)	
31	215	図8	東西冷戦時のヨーロッパ	生徒にとって理解し難い表現である。 (出典に照らして)	3-(3)	
32	231	表6	東南アジア各国の使用言語	生徒が誤解するおそれのある表である。 (出典に照らして)	3-(3)	
33	234	図3	東南アジアの経済回廊	生徒にとって理解し難い図である。 (「100°」)	3-(3)	
34	253	図5	アフリカの言語分布と公用語の分布	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例に照らして)	3-(3)	
35	261	図6	ヨーロッパにおける農業従事者一人あたりの農業生産額と農畜産物の生産額の割合 (265ページ図4「ヨーロッパの地域格差」も同様。)	生徒にとって理解し難い図である。 (タイトルと塗色範囲の関係について。)	3-(3)	
36	274	図3	アングロアメリカの都市の降水量	生徒にとって理解し難い図である。 (タイトルと年平均気温の関係について。)	3-(3)	
37	282	7	依然 (いぞん)	誤りである。 (ルビ)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-88		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	巻頭1	図2	「GISのしくみ」中、「駅から半径500m以内で、主要道路沿い300m以内」	生徒にとって理解し難い表現である。 (文章の右に示されるイラストに照らして。)	3-(3)	
2	16	図1	造山運動の時期による陸地の大区分と主な地下資源の分布	生徒にとって理解し難い図である。 (左右に描かれたアメリカ大陸の地下資源の分布が理解し難い。)	3-(3)	
3	24	図2	鬼怒川流域の常総市が作成したハザードマップ	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例の区分)	3-(3)	
4	40	図3	「主な分類別の絶滅危惧の割合」中、「準絶滅危惧」	生徒にとって理解し難い表現である。 (出典に照らして。)	3-(3)	
5	55	5	アンデン山脈	誤記である。 (「アンデン」)	3-(2)	
6	58	図3	世界平均気温の推移(西暦1年～2000年)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (図とタイトルとの関係)	3-(3)	
7	131	14 - 15	石油化学工業は、ナフサを原料とし、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「ナフサを原料」)	3-(3)	
8	157	7 - 8	…2010年代に入ってから日本を訪れる外国人は激増し、2015年には初めて日本人海外旅行者数を上回った。	生徒にとって理解し難い表現である。 (156ページ 図1「日本人海外旅行者数と訪日外国人旅行者数の推移」に照らして。)	3-(3)	
9	164	図1	「日本の貿易品目の変化」中、「輸入」のグラフ	生徒にとって理解し難い図である。 (「食料品 9.6」, 「食料品 11.9」)	3-(3)	
10	165	囲み 8-9	「深める「teriyaki」の普及としょうゆの輸出」中、「なかでも、日本から最も…しょうゆを輸出しているのがアメリカ合衆国である。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「から…輸出」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-88		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	171	図2	世界の合計特殊出生率	生徒にとって理解し難い図である。 (日本への指示線)	3-(3)	
12	174	図1	日本全国の総人口の推移と内訳の変化	生徒にとって理解し難い図である。 (増加率の折れ線グラフ)	3-(3)	
13	187	写真3	京都市中心部のまち並み	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「二条城」)	3-(3)	
14	192	図2	「ドイツと日本の政治・経済機能の分布」中、日本 (321ページ図1「日本全国の人口分布を立体的に表現した3次元メッシュマップ」も同様。)	生徒にとって理解し難い図である。 (タイトルに照らして図の範囲が理解し難い。)	3-(3)	
15	208	図2	「イスラエルとパレスチナを取り巻く国際関係」中、シリアの国旗	生徒が誤解するおそれのある図である。 (シリアの現状を誤解する。)	3-(3)	
16	213	側注1	沿岸国の陸塊が200海里を超えて延びている場合、…その海域を排他的経済水域として扱うことができる大陸棚の設定が可能となる。この大陸棚は、延長大陸棚とよばれる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (排他的経済水域と延長大陸棚との関係)	3-(3)	
17	213	囲み	「用語解説 ⑥連邦国家」中、「幕藩体制下の日本もこれに相当する。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
18	216	6 - 7	約447万km ² もの排他的経済水域(EEZ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (218ページ図1「排他的経済水域の面積上位6か国」に照らして。)	3-(3)	
19	219	図4	日本の排他的経済水域・延長大陸棚とメタンハイドレード・熱水鉱床の分布	生徒が誤解するおそれのある図である。 (南硫黄島海域(沖ノ島島東側)の延長大陸棚の取り扱いについて。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-88		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
20	220	図4	北極海周辺国の排他的経済水域の主張範囲	生徒が誤解するおそれのある図である。 (EEZ主張範囲を誤解する。)	3-(3)		
21	227	表3	「本書で取り上げる国・地域と考察方法」中、「扱っている主な地球的課題」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「世界に与える影響」)	3-(3)		
22	243	写真5	韓国企業によるスマートフォンの新製品発表会	特定の営利企業の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)		
23	253	図6	ASEANを取り巻く経済的なつながり	生徒が誤解するおそれのある図である。 (APEC加盟国)	3-(3)		
24	262	写真1	イスタンブールの街	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「スレイマニエモスク」)	3-(3)		
25	292	図1	ソ連の解体	生徒が誤解するおそれのある図である。 (時点に照らして。)	3-(3)		
26	298	図1	アメリカ合衆国の州別の民族構成	生徒が誤解するおそれのある図である。 (ニュージャージー州とデラウェア州の民族構成を誤解する。)	3-(3)		
27	332	図2	三大都市圏と地方圏の有効求人倍率の推移	生徒が誤解するおそれのある図である。 (指示線の位置)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 107-89		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	5	中囲み	「ポイント補説」中、1行目「人口推計の信用区間」	相互に矛盾している。 (158ページ囲み「ポイント補説」中、「人口推計と信用区間」に照らして。)	3-(1)	
2	8	図1	「地球の表面の起伏と北緯40°の地形断面図」中、「北緯40°の地形断面図」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「8000」)	3-(3)	
3	22	図3	直前の氷期(最終氷期)に氷床が最も拡大した範囲	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「0°」)	3-(3)	
4	26	図1	立谷川により形成された扇状地(山形県天童市)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「天童市」, 「電子地形図25000「天童」」, 「調整」)	3-(3)	
5	27	図2	渡瀬川沿岸の氾濫原	誤記である。 (「渡瀬川」)	3-(2)	
6	35	囲み	地理を深める ジェット気流	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (図と本文との関係)	3-(3)	
7	36	図1	1月と7月のアジアのモンスーン	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「20°」)	3-(3)	
8	41	図8	日本の黒ボク土・沖積土の分布	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「145° N」, 「25° E」)	3-(3)	
9	45	写真3	風力発電所(イギリス・ブライトン…)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ブライトン」)	3-(3)	
10	58	図3	「高地にある都市の雨温図とハイサーグラフ」中、「サンモリッツ」のハイサーグラフ	生徒にとって理解し難い図である。 (47ページ10行目「各月の値を順に結んだもの」に照らして。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 107-89		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
11	61	表7	日本のおもな地震・火山災害	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「熊本地震(M7.6)」)	3-(3)		
12	69	13 - 15	また、世界の半数以上の人々が、安全で衛生的なトイレを使用することができない状況にある(図6下)。	生徒にとって理解し難い表現である。 (図6下「安全なトイレへのアクセス状況」に照らして。)	3-(3)		
13	70	図2	「東アジアのPM2.5の7月の平均地表濃度」中、「PM2.5の濃度は、…特に偏西風が強くなる3～5月にかけて高緯度地域が拡大する。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「高緯度地域が拡大する」)	3-(3)		
14	70	図3	「PM2.5の粒子サイズ」中、「黄砂10 μ m」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (同ページ囲み「用語 ①PM2.5」中、「黄砂(4 μ m)」に照らして。)	3-(3)		
15	82	8 - 9	輸出による超高温殺菌牛乳も開発されている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「輸出による」)	3-(3)		
16	88	図3	日本の品目別農業産出額の推移	生徒が誤解するおそれのある図である。 (出所に照らして。)	3-(3)		
17	91	図8	「系統出荷の流れ」中、「出所：生産野菜流通システムの再構築」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「生産」)	3-(3)		
18	93	図4	日本の木材供給量・自給率の推移	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「万m ² 」)	3-(3)		
19	94	図2	世界の漁区別漁獲量の変化	生徒にとって理解し難い図である。 (「2018年」, 「2022年」)	3-(3)		
20	96	図3	国・地域別の栄養不足人口	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「2017年」)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-89		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
21	106	図3	中国・日本・ドイツの鉄鉱石輸入先と自給率	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「自給率」)	3-(3)	
22	115	4 - 6	コンピュータを用いた生産管理や製品設計、機械類の制御が一般化し、多くの分野で付加価値生産性が比較的に向上した(図5)。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「比較的に」)	3-(3)	
23	118	図1	1人当たり国民総所得(GNI)とおもな国の工業付加価値額の構成	生徒にとって理解し難い図である。 (「日本(2630)」)	3-(3)	
24	126	図2	資本集約型産業から知的集約型産業への技術革新	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (同ページ本文3行目「知識集約型産業」に照らして。)	3-(3)	
25	133	写真9	移動販売車(山梨県丹羽山村…)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「丹羽山村」)	3-(3)	
26	134	図3	「巨大ICT企業の売上高の推移」中、「注」直線はアメリカ企業」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「直線」)	3-(3)	
27	134	図4	日本のコンテンツ輸出の拡大と分野別内訳	生徒が誤解するおそれのある図である。 (出所に照らして。)	3-(3)	
28	145	図4	国民総所得(GNI)に占める観光の割合とおもな国の国際観光収支	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例と図形表現の関係)	3-(3)	
29	149	図6	世界のサービス輸出の項目別割合	生徒が誤解するおそれのある図である。 (出所に照らして。)	3-(3)	
30	152	図2	輸出依存度の高い国	生徒にとって理解し難い図である。 (「注」グラフの色は図3の四つのタイプの輸出形態」に照らして。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-89		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
31	160	4 - 5	移民(写真1)のよう居住地変更を伴うものがある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「のよう」)	3-(3)		
32	162	図1	アフリカの国・地域別合計特殊出生率	生徒が誤解するおそれのある図である。 (スケール)	3-(3)		
33	163	囲み	「用語 ④人口置換水準」中、「極低出生率という。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「という」)	3-(3)		
34	166	図2	「都道府県別の合計特殊出生率、高齢化率、女性有業率」中、「B. 高齢化率」	生徒にとって理解し難い図である。 (出所に照らして。)	3-(3)		
35	166	図2	「都道府県別の合計特殊出生率、高齢化率、女性有業率」中、「C. 女性の有業率」	生徒にとって理解し難い図である。 (「東京都 1.99」)	3-(3)		
36	166	図3	日本の総人口・人口構成・潜在扶養指数の推移	生徒にとって理解し難い図である。 (凡例不備)	3-(3)		
37	167	6	日系二世・三世ととその配偶者が定住として就労すること	生徒にとって理解し難い表現である。 (「とと」、「定住として」)	3-(3)		
38	167	図5	日本の人口の自然増減と社会増減の推移と見通し	生徒にとって理解し難い図である。 (図とタイトルとの関係)	3-(3)		
39	175	図5	1960年代の広島市亀山地区	生徒が誤解するおそれのある図である。 (出所)	3-(3)		
40	175	図6	現在の広島市亀山地区	生徒にとって理解し難い図である。 (出所, 凡例)	3-(3)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-89		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
41	178	9 - 10	高速道路に近接してを商業・オフィス・住宅地区の発達がみられる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「してを」)	3-(3)	
42	183	写真4	「民族衣装の特徴と素材」中、「②ペルーの外出着：ポンチョ」	生徒にとって理解し難い写真である。 (写真からポンチョが読み取れない。)	3-(3)	
43	195		ロシア・ウクライナ戦争とロシアの「失地回復主義」(全体)	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (「それぞれの立場」を参照できない。)	2-(14)	
44	195	図3	ウクライナ周辺地域の紛争地図	生徒が誤解するおそれのある図である。 (凡例と地図表現)	3-(3)	
45	195	表4	「ロシア・ウクライナ戦争までの経緯」中、「オスマン帝国がクリミアを制服」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「制服」)	3-(3)	
46	195	表4	「ロシア・ウクライナ戦争までの経緯」中、「親欧派のヤヌコビッチ大統領就任」	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ図3「ウクライナ周辺地域の紛争地図」中、「ヤヌコビッチ氏(親ロシア)」に照らして。)	3-(3)	
47	198	図2	おもな領有・帰属をめぐる対立、未承認国家のある地域	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (凡例に照らして。)	3-(3)	
48	200	図3	主要国の国土面積と排他的経済水域面積との比較	生徒にとって理解し難い図である。 (出所に照らして。)	3-(3)	
49	206	左 11- 13	日本は1956年に第一次南極地域観測隊を送り、領有権を主張したものの、サンフランシスコ平和条約によって無効となっている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (時点を誤解する。)	3-(3)	
50	213	表1	「第Ⅱ編第2章でとりあげる地域と地誌的な考察の方法、地球的課題」中、「地球的課題」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「エセキボの領有権問題」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-89		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
51	217	11 - 12	2002年には初めての南北首脳会談が実現するなど、緊張緩和が期待されている。	相互に矛盾している。 (同ページ表5「朝鮮半島の歩み」中、「2000 初の南北首脳会談」に照らして。)	3-(1)	
52	232	図2	西欧諸国による東南アジアの支配	生徒が誤解するおそれのある図である。 (「100°」)	3-(3)	
53	245	囲み	「用語 ②グローバルサウス」中、「南半球に位置するアジアやアフリカ、中南米地域の新興国・途上国の総称。」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「南半球に位置する」)	3-(3)	
54	246 - 253		④西アジア・中央アジア(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(2)イ(i)「対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する地誌」)	2-(1)	
55	247	図5	西アジア・中央アジアの農業 (250ページ図1「西アジアと中央アジアのエネルギー資源とパイプライン」も同様。)	生徒が誤解するおそれのある図である。 (スケール)	3-(3)	
56	250	図2	おもな産油国の輸出総額と鉱産資源の割合	生徒が誤解するおそれのある図である。 (アラブ首長国連邦のグラフ表現)	3-(3)	
57	261	図3	アフリカの越境交通インフラの整備	生徒が誤解するおそれのある図である。 (内陸開発途上国(LLDC)の塗色の単位)	3-(3)	
58	273	図4	EU加盟国への世論調査	生徒にとって理解し難い図である。 (塗色の単位)	3-(3)	
59	274	4 - 6	第二次世界大戦後は、アメリカなどの資本主義国とロシアなどの社会主義国が対立し、強大な軍事力を背景とする東西冷戦が続いた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (同ページ7行目「1991年にソ連は崩壊し」に照らして。)	3-(3)	
60	279	13 - 15	また、安全保障を含むつながりとしてロシアと中国、インド、イラン、中央アジア5か国による上海協力機構(SCO)がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (同ページ図7「ユーラシア経済連合と上海協力機構の国々」中、「上海協力機構(SCO)：10か国」に照らして。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 107-89		学校 高等学校		教科 地理歴史	種目 地理探究	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
61	282	図1	「北アメリカ大陸の地形と断面図(北緯37度線)」中, 下「断面図」	生徒にとって理解し難い図である。 (図1上「北アメリカ大陸の地形」に照らして。)	3-(3)	
62	282	図2	「北アメリカ大陸の気候区分」中, 「ワシントンD.C. (Cfb)」	相互に矛盾している。 (同ページ図3「アメリカ・カナダの主要地点の雨温図」中, 「ワシントンD.C. (Cfa)」に照らして。>	3-(1)	
63	284	囲み	「ポイント補説 北アメリカ大陸の先住民族」中, 「アメリカに暮らす先住民の総称を」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「先住民」)	3-(3)	
64	287	囲み	「地域でとらえる メキシコから輸出される生鮮野菜」中, 「NAFTAによる輸出ルールの明確化により」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (NAFTAが現在も効力があるように誤解する。)	3-(3)	
65	287	図7	「オガララ帯水層の地下水面の変化」中, 「ネブラスカ州からテキサス州の北部にかけて南北約2,500km, 東西500～1,500kmの幅で分布している。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (図から読みとれない。)	3-(3)	
66	289	図4	電気自動車向けのバッテリー工場の分布と, 2030年までの製造能力計画	生徒にとって理解し難い図である。 (海部の破線)	3-(3)	
67	289	図5	おもな国の研究開発費の推移	生徒が誤解するおそれのある図である。 (単位)	3-(3)	
68	289	囲み	「用語 ①マキラドーラ」中, 「1994年のNAFTA発効により関税が撤廃されてからは」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (NAFTAが現在も効力があるように誤解する。)	3-(3)	
69	290	図4	「主要国の兵力比較」中, 「海上兵力」	生徒が誤解するおそれのある図である。 (アメリカ)	3-(3)	
70	295	囲み	「地域でとらえる 乾燥帯での灌漑果樹栽培」中, 「ブラジル北東部内陸のとよばれる半乾燥地域は」	生徒にとって理解し難い表現である。 (「のとよばれる」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

